

指定管理者の期末モニタリング

施設名	宮代町立図書館	年度	令和5年度
指定管理者	株式会社図書館流通センター	担当課	教育推進課
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	期別	第3期
施設の目的	図書その他の資料提供を中心とする活動によって、町民の文化・教養・調査・研究・レクリエーション等に資することを目的とする。		
業務の内容	生涯学習及び情報提供の拠点施設として、「第2次図書館ビジョン」の実現に向けた図書館業務を実施する。		

総合的な評価	
【総合評価】	A優良 0 B適正 14 C改善 0
・図書館ビジョンに掲げられた目標像を踏まえ、専門事業者としてのノウハウや組織力を活かし、図書の収集・貸出、行事開催、施設管理などのサービスを適切かつ効果的に実施していると認められ、その成果は利用者アンケート等の結果からも確認できた。 ・令和5年度には、日本工業大学とコラボしたブックポストの制作設置や、障がいのある子どもたちをはじめとしたすべての子どもたちが楽しめる本棚として「りんごの棚」を設置するなど地域力を生かした図書館の新たな魅力アップへの取組は高く評価できる。 ・一方で、利用者アンケートからは、図書館運営の総合的な満足度については8割以上が満足と高い回答を得ているものの、施設設備や蔵書に関する要望などの声をいただいた。今後も利用者の声に耳を傾けながらニーズに沿った業務改善への取組、利用者満足度の向上に努めていただきたい。	
【評価事項】	
・保健センターと連携した食育月間の取組（展示に合わせた本の特集を同時開催） ・日本工業大学や社会福祉協議会、町行政部局などと連携した合同展や行事への参画 →認知症合同展 →おとなのための昔話と音楽のつどい（日本工業大学吹奏楽団） ・日本工業大学とコラボしたブックポストの制作設置 ・りんごの棚の設置	
【改善事項】	
・施設設備、環境の向上 ・利用者満足度のさらなる向上（利用者アンケートや窓口等での聞き取り結果の業務反映を含む） ・電子図書館、デジタル郷土資料のさらなる利用促進	

1. 施設の管理運営・事業	評価	B 適正
・事業計画書に基づく開館日、事業、行事等の実績については、昨年度に比べて減少傾向であるが、各種行事や電子図書を含む蔵書の充実など図書館の努力は評価できる。 ・また、行政や大学などと連携した特集図書や企画展は産学官連携の新たな取組として評価できる。 ・資料貸出数は全体的に落ち込んでいるものの、電子書籍の貸出数や、AV館内利用は昨年度よりも増加していた。 ・一方で、行事参加者数に関しては、「紙芝居と折り紙」、「にちようえほんの会」など伸びている行事もあるが、全体的に、昨年度に比べて13ポイント落ち込んでいる。原因究明とともに必要な対策を講じつつ、今後一層のサービス向上や効率化などを期待する。		
■開館日数:291日(R4年度:290日) ■入館者数:125,091人(R4年度:127,390人)※対前年比:98% ■新規登録者数:681人(R4年度:653人)※対前年比:104% ■貸出者数:72,145人(R4年度75,679人)※対前年比:95% ■資料貸出数:249,202点(R4年度266,832点)※対前年比:93% ■電子書籍の貸出数 310点(R4年度:179点)※対前年比173% ■AV館内利用数 968点(R4年度:639点)※対前年比151% ■行事参加者数:2,900人(R4年度:3,351人)※対前年比:87%		
2. 利用者の公平確保	評価	B 適正
利用登録、図書及び有料施設の貸出等は、条例及び規則に基づき適切に実施されていた。		

3. 職員の配置、研修等	評価	B 適正
・人員は計画書に則った組織体制を維持していた。 ・県立図書館の「地域資料研修会」や東部地区公共図書館研究会主催の「読書バリアフリー研修会」に出席するなど、外部研修に積極的に参加していた。 ・スタッフの接客対応については利用者から例年高い評価を得ている。一方で、昨年度に引き続き一部職員の接遇に対する不満が寄せられていた。業務内容に関する知識・スキルの向上もさることながら、スタッフ一人ひとりが挨拶や受け答えなど接遇の基本をしっかりと身に付け日々の業務を遂行していくことが肝要である。		
4. 施設の維持管理業務(清掃、植栽管理など)及び保守点検	評価	B 適正
全県的に病害虫による植栽被害が報告されている。町内においても被害報告が散見されていることから、引き続き適切な管理に努めていただきたい。		
5. 施設の修繕	評価	B 適正
開館から30年を経過し、経年劣化も進行してきていることから、引き続き適切な点検、修繕を行うようお願いする。		
6. 備品管理	評価	B 適正
図書館の什器備品については適切に管理されていた。		
7. 安全・危機管理	評価	B 適正
・消防法に基づき、防火管理者の配置、消防計画の作成、避難訓練を適切に実施していた。 ・また、地元警察とも連携を図り、お客様に安心して利用いただける環境の確保に努めていた。		
8. 個人情報の管理	評価	B 適正
個人情報の取り扱いについては、本社から派遣される監査員の監査を定期的の実施しており、適切に履行されていた。また、図書館システムのクラウド化(平成27年度実施)によって、利用者情報等のセキュリティ強化が図られていた。さらに、令和5年度においても全スタッフがプライバシーマーク研修を受講し、個人情報の取り扱いを適切に行う体制の整備に力を入れていた。		
9. 利用者ニーズの把握・反映	評価	B 適正
図書館協議会委員や図書館ボランティアからの意見聴取のほか、毎年度末に利用者アンケートを実施し利用者ニーズの把握に努めるとともに、読書環境の向上に向けた新たな企画(子供向け行事や行政、大学等との連携事業)にも着手していた。		
10. 自主事業の実施	評価	B 適正
・月例行事及び季節行事ともに概ね事業計画に基づき実施できていた。 ・一部の子供向け行事を除いて、昨年度比で13～32ポイント減少しているため、対策を講じる必要がある。 ・夏休みの子ども行事やおはなしの会スウスなどの団体と協働による行事は人気も高く、今後も継続して実施していただきたい。 ・食育展や認知症合同展などは、行政や大学、社会福祉協議会など産学官連携による取組は、図書館の新たな魅力として積極的な展開を期待している。 ・開館30周年記念展示を行い、令和6年度も記念行事が控えているので期待している。		
11. 経費節減	評価	B 適正
経費節減の努力は年間を通して励行されていた。一方で、社会情勢の変化や円安による燃料価格の高騰を受け、光熱費の負担増は避けられなかった。経費節減にも限界はあるかもしれないが、業者の見直しや委託内容の精査など取り得る限りの対策を引き続き期待している。		
12. 環境への配慮	評価	B 適正
ごみの分別、館内照明のLED化など適切な配慮を行なっていた。		
13. 利用者への情報提供	評価	B 適正
HPやX(旧Twitter)にて情報発信に努めていた。今後は、人気行事の報告やその他事業のさらなる認知度の向上に向けてより一層積極的な情報発信に期待する。		
14. 会計管理	評価	B 適正
会計管理については、指定管理者(本社)の会計担当により適切に実施されていた。		